

目的

- (1) 各界から先行する取組を共有し、更なる取組に弾みをつける場、多様なセクターの協働を促進していく場の提供。
- (2) G7や国連等における国際的な議論を紹介し、国際的な動向の国内への導入及び日本の取組の海外展開を検討。
- (3) 会議の内容を環境省ウェブサイトにて紹介し、また国際的な場で発信、他の国／主体の取組を後押し。



概要

- ステークホルダーズ・ミーティングを2016年度に3回東京で開催。主にビジネス、メディア、市民社会等からも計500名程度が参加。
- 国際機関や政府の最新動向、SDGs指標策定プロセス等の共有
- 民間企業から、他のゴールにも関連する「持続可能な消費と生産」と企業による本業を通じたSDGs達成への貢献に焦点をあて、国際的にも評価されている企業の先行事例を紹介。
- ミーティング後、参加者のネットワーキング、意見交換のための懇親会を開催。

今年度の進め方

- (1) SDGsに関する世界の潮流のインプット強化（我が国企業による海外での事例発表の結果報告や海外ゲストによるSDGsの取組事例の紹介等）
- (2) 先行的に取り組む企業に加え、地方公共団体とのパートナーシップ事例についても共有
- (3) SDGsに対する投資家からの期待のインプット

今後の予定

<第4回 10月13日>

- ・ 国際会議への参加企業からの報告
- ・ 企業・自治体からの先駆的な取組事例の紹介

<第5回 11月29日>

- ・ 海外ゲストを交えた企業の長期戦略におけるSDGsの取組に関するディスカッション

<第6回 1月～2月>

- ・ 投資家を交えたSDGsの取組の推進に関するディスカッション
- ・ 企業・自治体からの先駆的な取組事例の紹介

SDGsステークホルダーズ・ミーティングの目的と進め方：③構成員

構成員

有馬 利男	一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事
福田 加奈子	住友化学株式会社CSR推進部長
関 正雄	損害保険ジャパン日本興亜株式会社CSR室シニア アドバイザー 明治大学経営学部特任准教授
星野 智子	地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）運営委員
園田 綾子	株式会社クlean代表取締役社長
藤田 香	株式会社日経BP社日経エコロジー編集 日経BP環境経営フォーラム プロデューサー
川廷 昌弘	株式会社博報堂広報室CSRグループ推進担当部長
小田 亜紀子	独立行政法人国際協力機構（JICA）企画部 参事役
竹本 和彦	国連大学サステナビリティ高等研究所所長
蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
田崎 智宏	国立研究開発法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室室長
下田 康晴	横浜市温暖化対策統括本部本部長
遠藤 健太郎	内閣府地方創生推進事務局参事官
甲木 浩太郎	外務省国際協力局地球規模課題総括課長
福島 健彦	環境省地球環境局国際連携課長
森 秀行	公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）所長（ファシリテーター）